

十和田市 社協だより

平成31年1月発行 第117号

目次

- ・第14回十和田市社会福祉大会開催…………… 2
- ・ゆめ色フェスティバル…………… 2
- ・水道・電気点検企業ボランティア実施… 3
- ・ふれあいメール相談…………… 4
- ・生活福祉資金「教育支援資金」のご紹介… 4
- ・福祉の作品コンクールほんわかハート展… 5
- ・まちかど情報局…………… 8



賀正

あけましておめでとうございます。十和田市社会福祉協議会は本年も市民の皆様と『住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせるとわだ』を目指してまいります。

十和田市生活支援体制整備事業



地域での支え合いについてグループワークを実施。



岩手県花巻市長寿福祉課の晴山弥子氏から先駆的な取組事例の発表。

たすけ愛・ささえ愛の 地域づくりフォーラム開催

十和田市の地域を支えるために熱心に耳を傾ける参加者。



話し合いの結果を発表し参加者で共有。



職員募集

平成31年4月1日採用職員を募集します。詳細は、十和田市社会福祉協議会ホームページでご確認ください。

(<http://towada-shakyo.or.jp>)

12月4日(火)、市民文化センター生涯学習ホールで「生活支援体制整備事業」の一環として、「たすけ愛・ささえ愛の地域づくりフォーラム」を開催し、約80人の参加がありました。

この事業は、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、様々な福祉サービスを利用しながら住民同士においても可能なたすけあい・支え合い活動を展開していくという事業です。

当日のフォーラムでは、先進地花巻市の住民同士の活動取組みの基調講演があり、地域で健康体操を目的に集まり困っていることを話したことから、たすけあい活動が始まりました。今では、介護保険サービスを補完する住民ボランティアに発展している様子などが伝えられました。

次に、この取組みを基にフォーラム参加者によるグループワークを行い、自らの暮らす地域でのたすけあい活動やその効果・今までどんな活動をしたか・さらにどんな活動があれば良いかなどを話し合いました。「自分にもできることがありそうだ。」「地域を見つめる良い機会になった。」「住民同士が地域を見守る必要性を感じた。」などの意見が聞かれました。

今回のフォーラムをとおし、十和田市の「地域づくり」「人づくり」「つながりづくり」が行われ、これから私たちの暮らしに欠かすことのできない、たすけあい・支え合いの大切さを見つめ、気づく時間となりました。

福祉功労者84人 88団体を表彰

第14回十和田市社会福祉大会開催

10月24日(水)、十和田市民文化センターで、第14回十和田市社会福祉大会を開催し、福祉関係者など約500人の市民が参加しました。

この大会は、長年本市の社会福祉に功績のあった方々を表彰することにも、地域づくりの共に取り組むことの重要性を再認識することを目的に、十和田市と十和田市社会福祉協議会が開催しています。

今年は、少子高齢人口減少に備え、老若男女問わず地域の住民や地域のあらゆる資源が共に課題改善に参画する「地域共生社会」実現の契機とするため開催しました。



十和田市社会福祉大会の様子



講師の青山良平氏

記念講演では、フリーパーソンナリテイとして活躍を続けている青山良平氏から、「言葉は心を伝えるか」と題し、自身の体験談を交えながら言葉の大切さについて伝えられました。



受賞者代表謝辞を述べる 外山忠男様

オープニングアトラクションとして、とわだ混声合唱団による合唱「愛の挨拶」で開幕後、式典では長年福祉に尽力された皆様(3ページ参照)を表彰しました。また、ほんわかハート展最優秀賞作文の発表と、5部門の最優秀賞受賞者(5〜7ページ参照)の表彰を行いました。

日頃の練習の成果を発揮

ゆめ色フェスティバル

11月10日(土)、サン・ロイヤルとわだで、市民が障がいの有無に関わらず、芸能発表などにより交流を深め、障がいの社会参加を図ることを目的に「ゆめ色フェスティバル」を開催しました。このフェスティバルは、昭和62年から毎年開催し、今年32回目を数え、劇・舞踊・歌・楽器演奏など11演目の披露がありました。参加者は発表に向け、数カ月前から企画し練習を重ね、毎年本番に臨んでいます。華やかな衣装の素晴らしい演技に会場からは大きな拍手と声援が響いていました。

交流会では、ナノハナ様によるピアノとバイオリンの澄み切った音色の演奏に参加者は酔いしれていました。また、青森市在住のエルヴィス・トキ様によるアトラクションは、熱い歌と参加者を巻き込んだ豪快なパフォーマンスに、会場内は一体となりました。

その後のビンゴゲームでは、サンタクローズに扮した施設職員が会場を盛り上げ、一足早いクリスマス会の雰囲気の中で、プレゼントを受け



会場は一体感で包まれました。



楽しいストーリーに大きな拍手。



最後にみんなで大合唱。



ビンゴでは会場は歓声の嵐。

取った参加者が手をたたき喜び歓声を上げる姿が見られました。ゆめ色フェスティバルは、今後多くの方々、賛同される企業に支えられ、参加者の夢や思いをつないでいきます。

第14回十和田市社会福祉大会で 受賞された皆様おめでとうございます

十和田市社会福祉協議会関係受賞者(敬称略)

民生委員・児童委員

- 沢原 良一 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 野月 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 長谷川 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 杉山 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 平舘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 稲場 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 長畑 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 外山 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 木野 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 沢野 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 甲斐 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 田中 祝 弘 祝 弘 祝 弘

施設及び団体役員

- 成田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 小川 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 山田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 沢田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 山田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 沢田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 山田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 沢田 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 弘 祝 弘 祝 弘 祝 弘

個人の部

- 漆田 博 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 吉田 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 目時 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 外山 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 小野 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 十枝 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 黒枝 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐藤 孝 祝 弘 祝 弘 祝 弘

団体の部

- 十和田市身体障害者福祉会
- 十和田市立切田中学校
- 精神保健福祉ボランティアの会
- 十和田市老人クラブ連合会
- 一般財団法人 済誠会 代表理事 江渡憲子
- 特別養護老人ホーム 一葉園 職員一同
- 救護施設 まごのホーム 職員一同
- 救護施設 誠幸園 職員一同
- 児童養護施設 あけぼの学園 職員一同
- 児童養護施設 マルハン 職員一同
- 十和田市社会福祉協議会 職員一同

町内会の部

- 東藤 希 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 杉野 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 齊藤 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 中野 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 坪井 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 漆戸 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 宮崎 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 小宮 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 中村 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 鳥部 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 駒井 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 吉田 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 小笠原 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 気田 紀 祝 弘 祝 弘 祝 弘

社会福祉活動協賛者

- 千原 博之 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 中山 加奈子 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 津島 幸穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 木田 志寛 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 山根 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 中山 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 北山 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 杉山 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 中野 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 柳野 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 久保 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下村 志穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘

感謝

- 若津 喜悦 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 小川 美智穂 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 下川 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘
- 佐々木 俊生 祝 弘 祝 弘 祝 弘

水道・電気検 企業巡回サービス

お正月に備え、安心のお手伝い
11月2日(水)、十和田管工事協会青年部の方々が、高齢者宅12人の自宅を訪れ、水道蛇口の調整や水漏れの有無を点検しました。工事が必要な方へは応急的な処置や、工事のアドバイスや相談を行いました。利用者からは、「水漏れが気になっていたので直していただきゆっくり眠れます。」など感謝の声が寄せられました。

また、11月14日(水)、東北電力十和田電力センター・ユアテック十和田営業所・東北電気保安協会十和田事業所の方々が高齢者15人のお宅を訪問し、照明器具の清掃・漏電点検・電球交換などを行いました。利用者からは、「高い所は掃除できず、また電気については知識も無く不安でした。」「皆様のおかげで心も暖かくなりました。」など、感謝と笑顔が見られました。企業の社会貢献活動は、地域の見守りにも役立っています。



照明器具を外し、心を込めて清掃と点検

ふれあい
メール相談



社会福祉協議会では、悩みごとや困りごと、心配ごとが少しでも良い方向に向かうためのお手伝いとして「ふれあい相談所」を開設しています。

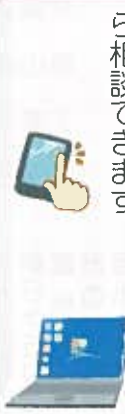
一人で悩んでいませんか？ 「ふれあいメール相談」

直接会ったり、電話で話したりするのが難しい方のために、平成30年度からは電子メールでパソコンや携帯電話から相談ができるようになりました。



「ふれあい相談したらいいかわからない」、「ふれあい相談に話したい」など、どんなことでもご相談ください。ふれあい相談員が、悩みを聞いて、寄り添います。

相談方法*
社会福祉協議会ホームページ (towada-shakyo.or.jp)、
「ふれあいメール相談」ページから相談できます。



対応時間*

受付は24時間。

回答は平日8時30分～17時15分 (年末年始を除く)。

※内容によっては、回答まで時間を要することもあります。

相談対応者*

ふれあい相談員

ふれあい相談所では、メール相談のほか、対面相談、電話相談も引き続き対応しています。

開設時間

平日8時30分～17時15分

(年末年始を除く)

☎22-7938 (相談専用)

平成30年度 福祉の作品コンクール

ほんわかハート展

次代を担う小・中・高校生に、社会福祉への理解と関心を深めてもらうことを目的に、毎年「ほんわかハート展」を開催しています。
今年も、ホエム・作文・絵画・写真・書道5部門に対し、16小学校、8中学校、2高等学校から691作品の応募があり、審査の結果、下記のとおり入賞者が決定しました。
(敬称省略)

作文部門

小学校高学年の部

【優秀賞】 気田さくら (北園6年)

杉沢 芽都 (三本木6年)

蝦名 咲柚 (ちとせ6年)

中学校の部

【最優秀賞】 田中 心雪 (十和田1年)

【優秀賞】 高見りつ花 (切田3年)

林 紗天佳 (第一3年)

上坂くるみ (切田2年)

折田凜々人 (第一3年)

奥寺彩綺奈 (切田3年)

滝内 優斗 (第一3年)

新山ひろの (三本木高校附属3年)

中渡 凪 (第一2年)

高松 千洸 (切田3年)

今泉 朋果 (四和1年)

樋口 菜美 (第一2年)

氣田 彩人 (第一3年)

竹ヶ原未空 (三本木高校附属1年)



社会福祉大会で表彰された各部門 最優秀賞受賞者の皆さん



進学費用の相談に応じていきます

生活福祉資金・教育支援資金の紹介

申込方法・手続き

【申込相談窓口】

低所得者世帯で、進学するための修学費、入学準備に係る支度費を他から利用できない世帯に対し、貸付相談や支援を行います。

※「日本学生支援機構」「日本政策金融公庫」などの他制度が優先となります。

「教育支援資金」の種類

①教育支援費

【申請理由】

- ◇高校・大学・専門学校へ進学したい
- ◇授業料などが足りない

【貸付限度額 (月額)】

- ◇高等学校…月額 3万5千円
- ◇高等専門学校…月額 6万円
- ◇短期大学…月額 6万円
- ◇大学…月額 6万5千円

②就学支度費

【申請理由】

- ◇入学金、制服やカバンなどの購入費が足りない

【貸付限度額 (1回のみ)】

- ◇入学時…50万円以内

【連帯保証人】
原則不要ですが、借入者(就学者)の世帯生計中心者が「連帯借入人」となる必要があります。

【必要書類】

- ・借入申込書
- ・民生委員の意見書
- ・合格通知書
- ・借入経費の中身が分かる書類
- ・世帯の住民票
- ・所得が分かる書類
- ・など



※「教育支援資金」の他にも、障がい者世帯の「自動車購入費」、低所得者・高齢者世帯の「福祉費」などもあります。詳細はお問い合わせください。

「それぞれの世界」

十和田中学校1年 田中 心雪

四月、私はこれからあるであろう楽しい中学校生活に胸を膨らませ、学校の門をくぐりました。新しい友達ができるか、部活は何に入ろうか、そして何より、初めての自転車通学にワクワクしていました。

そんな時、入院することになってしまいました。私はまるで、大きな穴につき落とされたように目の前が真っ暗になりました。悔しくて悲しくて涙がでました。心の底からどうして病気になるってしまったのだろう、病気になるてなりたくないと思いましたが、この時、初めて「病室」について興味をもちました。

病室では何冊か本を読みました。その中で印象深かったのは、「自閉症の僕が跳びはねる理由」という本でした。私は自閉症について、入院して治療したり薬を飲んだりすれば治る病気、もしくは心の病だと思っていました。しかし、本を読んでいくうちに、違うような気がしてきました。調べてみると、自閉症とは先天的な脳の中枢神経の機能障がいであり、自分を取り巻く様々な物事や状況が定型発達者と呼ばれる人たちと同じようには脳に伝わらないために、結果として対人関係の問題やコミュニケーションの困難さ、特定の物事へのこだわりを呈するという障がいだということがわかりました。

この本の著者の東田直樹さんは、重度の自閉症でありながら、パソコンや文字盤を使ってコミュニケーションが可能になりました。でもこれは簡単な事ではなかったようです。何度も挫折を繰り返しながら、長い時間をかけて本当の自分の気持ちを表現できるようになったそうです。そして、十三才の時にこの本を書きました。私と同じ年で、しかも障がいを持ちながら本を書くという事に私はとても驚きました。しかもとても読みやすく書かれています。

本のはじめにの所に、「僕たちの世界を旅してくたさい」というページがありました。私は「僕たちの世界」は自閉症者の「中」。「旅してくたさい」は理解してくたさいという事なのだろうと考えました。

本の中には、たくさんの彼らの世界が出てきます。大きな声が出るのはなぜか、みんなといるより一人が好きなのか、みんなが好きなことをするのはなぜか、どうして水の中が好きなのか、どうしてパニックになるのかなど、まだまだたたくさんの世界があるようです。

例えば、どうしてパニックになるのか、東田さんはどのように書いています。「みんなが僕たちを誤解していることのために、僕たちは目に見える行動が幼いので、心の中も同じように思われてしまいます。でも本当は、上手に話せない分、みんなよりもっと繊細かも知れません。僕らはいつもきりぎりすのところで生きているのです。気が狂いそうになんかあります。そんな時には泣かせて下さい。側で見守って下さい。苦しさのあまり自分が分からなくなり、自傷、他傷行為をするのをためて下さい。」と。

私は今まで自閉症の人と接した事はありません。もし、目の前にパニックをおこして、大声をあげている自閉症の人がいたら、本を読む前なら怖くて距離を置いてしまったでしょう。でも、本当は怖いのは私たちではない。思い通りにいかない体、伝えられない気持ちを抱えている自閉症の人たちなのです。上手に会話ができないことや表情が乏しいことで、外見上誤解を招く事が多い彼らですが、普段私たちが助け合っているように、彼らにも助けが必要なんです。私は本を読み終えた今なら、側で見守り、助けてあげられるように思います。

絵画部門

小学校低学年の部

- 【最優秀賞】 豊川 葵清 (東2年)
- 【優秀賞】 中村 春真 (南1年)
- 栗橋 遼 (東1年)
- 【優良賞】 里村 勝信 (法興2年)
- 芋田 玖楓 (ちとせ2年)
- 高舘 奏虹 (南1年)
- 鶴田 月咲 (東2年)
- 山崎 光輝 (三本木1年)
- 楠部舞衣子 (三本木2年)
- 【佳作】 葛西 彩乃 (北園2年)
- 舩沢 柚那 (南1年)
- 楠部美衣子 (三本木1年)
- 西野 功輝 (藤坂1年)
- 戸間替快聖 (深持2年)

小学校高学年の部

- 【最優秀賞】 田中 鈴花 (三本木6年)
- 【優秀賞】 下山 風雅 (北園5年)
- 齋藤 帆花 (南4年)
- 佐々木奈々 (四和6年)
- 【優良賞】 柏崎 美々 (北園6年)
- 高田 冬花 (ちとせ5年)
- 菊野 美優 (南5年)
- 須田山 遥 (高清水6年)
- 久保 昌喜 (北園6年)
- 【佳作】 吉岡 通帆 (藤坂6年)
- 桜田かなめ (三本木4年)
- 戸間替陽暉 (深持5年)
- 島貫 旭生 (南4年)
- 芋田 剛玖 (ちとせ5年)

中学校の部

- 【最優秀賞】 鈴木 遼香 (三本木高附属2年)
- 【優秀賞】 中野渡佳胤 (甲東3年)
- 瀬川 琴末 (三本木高附属1年)
- 豊川己羽来 (三本木高附属2年)

優良賞

- 中村 杏 (三本木高附属1年)
- 山下 夏葵 (三本木高附属1年)
- 川崎 真依 (三本木高附属2年)
- 黒沢 晴香 (三本木高附属2年)
- 本堂 聖也 (三本木高附属2年)
- 【佳作】 竹林 優 (甲東1年)
- 豊川 葵青 (甲東2年)
- 田中 陽菜 (三本木高附属1年)
- 中嶋 奏希 (三本木高附属1年)
- 畑澤 優 (三本木高附属1年)



【ぼくの大切なふたごのおとうと】
東小2年 豊川 葵青



【晴れのち猫】
三本木高附属中2年 鈴木 遼香



【大事な妹】
三本木小6年 田中 鈴花

ポエム部門

小学校低学年の部

- 【最優秀賞】 寺沢 賢青 (南1年)
- 【優秀賞】 野村 祐太 (南3年)
- 佐々木麻衣 (三本木2年)
- 【優良賞】 太田 咲良 (藤坂3年)
- 太田 悠敬 (北園2年)
- 秋元 維仁 (北園3年)
- 川村 祥矢 (南1年)
- 鳥谷部未侖 (南1年)
- 中野渡景隆 (三本木3年)
- 【佳作】 小原ひまり (ちとせ3年)
- 畑山 来未 (南2年)
- 畑山 成美 (南2年)
- 村井 まゆ (東2年)
- 吉岡 結愛 (藤坂3年)

小学校高学年の部

- 【最優秀賞】 川上日向子 (南6年)
- 【優秀賞】 伊瀬 慈蓮 (南6年)
- 斗澤 大我 (東6年)
- 橋本 有香 (三本木5年)
- 【優良賞】 泉 栄興 (洞内6年)
- 松橋 蓮 (南4年)
- 古川 幸寿 (東5年)
- 前山 梓 (藤坂6年)
- 長谷川朱羽 (藤坂5年)
- 【佳作】 中沢 優希 (ちとせ4年)
- 蝦名 咲柚 (ちとせ6年)
- 中屋敷真樹 (北園4年)
- 村井 志歩 (東6年)
- 中野渡 結 (深持5年)

中学校の部

- 【最優秀賞】 奥山 朱々 (三本木1年)
- 【優秀賞】 飯川 結斗 (三本木1年)
- 【優良賞】 野中 海天 (甲東2年)
- 村松 将光 (三本木1年)
- 野月 大雅 (三本木3年)

「ぼくができること」

南小学校1年 寺沢賢青
ぼくのじじは、もう、めがみえない
だから、
ぼくは、てをひく、じじのねごまで
ぼくは、いつばい、おはなしする
じじの、みもごとで

「勇気」

南小学校6年 川上日向子
暑い日、道ばたに
知らないおばあちゃんが
しゃがみこんでいた
足元には燃える「3」の袋
「お手伝いしましょうか？」
「ありがとう」
「おばあちゃんは手を合わせていた
まるでおがむように」
勇気を出せてよかった
こちらこそ、ありがとう

「夏休みの部活」

三本木中学校1年 奥山朱々
あつつい夏は、きらいでも
部活はとも、大好きだ
くじけそうになっても
仲間が支えてくれる
だから楽しくできる
一人じゃない
そう思うと
だんだん勇気が
わいてくる

書道部門

小学校低学年の部

- 【最優秀賞】 古里 浩志 (南3年)
- 【優秀賞】 山崎 彩里 (南3年)
- 齋藤 愛羽 (東1年)
- 【優良賞】 二子 (三本木3年)
- 園分 もも (ちとせ3年)
- 坂田 芽依 (北園2年)
- 一戸 結衣 (北園2年)
- 中野 葵紅 (南1年)
- 齊藤 寧彩 (三本木3年)
- 【佳作】 中野 愛奈 (北園1年)
- 對馬 佳音 (北園2年)
- 関口 琴羽 (北園3年)
- 中野 桜心 (南2年)
- 月詔 英友 (東3年)

小学校高学年の部

- 【最優秀賞】 松橋 香音 (三本木6年)
- 【優秀賞】 松橋明依未 (三本木5年)
- 直町 美那 (南6年)
- 馬場 愛友 (南5年)
- 菅野 奏香 (藤坂4年)
- 高村 咲史 (藤坂6年)
- 中屋敷幸樹 (北園6年)
- 高松 惺 (南4年)
- 野月 悠生 (沢田5年)
- 【佳作】 下山 陽和 (藤坂5年)
- 佐藤 優香 (北園6年)
- 成田 美姫 (三本木6年)
- 向中野姫来 (西5年)
- 東 快成 (東4年)

中学校の部

- 【最優秀賞】 大平 青海 (東3年)
- 【優秀賞】 四橋玖理州 (三本木1年)
- 小笠原千容 (三本木高附属2年)
- 赤坂 里恵 (三本木高附属3年)
- 【優良賞】 里村くるみ (甲東3年)
- 小川 愛実 (切田2年)
- 高松 千洗 (切田3年)
- 直町 莉子 (三本木3年)
- 後藤 莉成 (三本木高附属2年)
- 内城 七海 (東1年)
- 田中 悠斗 (十和田1年)
- 戸来 仁絵 (十和田3年)
- 福沢 幸姫 (三本木高附属2年)
- 斗沢 星羅 (三本木高附属2年)

高等学校の部

- 【最優秀賞】 小比類美月 (三本木2年)
- 【優秀賞】 高屋 映里 (三本木1年)
- 小笠原美玖 (三本木1年)
- 甲地 史佳 (三本木1年)
- 向江 舞桜 (三本木2年)
- 坂本 美空 (三本木2年)
- 荒町 滯 (三本木1年)
- 松嶋 優依 (三本木2年)

「やさしさ」
南小3年 古里 浩志

「思いやり」
三本木小6年 松橋 香音

「相互扶助」
東中3年 大平 青海

「孝子慈孫」
三本木高2年 小比類美月

写真部門

小学校低学年の部

- 【最優秀賞】 菅井 快晟 (北園1年)
- 【優秀賞】 櫻田 柚希 (ちとせ2年)
- 對馬 佳音 (北園2年)
- 東 初寧 (南3年)
- 【優良賞】 上道 暉叶 (南2年)
- 下山ももな (南3年)
- 畑山 元揮 (南3年)
- 中野渡叶帆 (三本木2年)
- 佐々木美衣 (藤坂3年)
- 【佳作】 水出 陽清 (北園1年)
- 野中 虹琥 (南1年)
- 小守珠月穂 (南3年)
- 七崎 優輝 (東2年)
- 堀内 優夏 (西3年)

小学校高学年の部

- 【最優秀賞】 下山アンナ (南5年)
- 【優秀賞】 江渡 愛莉 (藤坂5年)
- 佐々木美緒 (藤坂5年)
- 菅井 綜真 (北園4年)
- 【優良賞】 米田 和葵 (南4年)
- 櫻田 大智 (ちとせ4年)
- 小山田心桜 (ちとせ5年)
- 橋本 淳平 (南4年)
- 福村 衣純 (北園4年)
- 【佳作】 位下 多聞 (南4年)
- 木村 文音 (藤坂5年)
- 竹浦 琉生 (南5年)
- 富山 世梨 (東6年)
- 里村 優芽 (法興6年)



「このはななあに？」
北園小1年 菅井 快晟



「たくさんのんでね。」
南小5年 下山 アンナ



「集中～熟練の技～」
三本木農業高3年 沼岡 航平

中学校の部

- 【優良賞】 野中 海天 (甲東2年)

高等学校の部

- 【最優秀賞】 沼岡 航平 (三本木農業3年)
- 【優秀賞】 川村 麗音 (三本木農業2年)
- 【優良賞】 立崎 佑衣 (三本木農業2年)
- 【佳作】 田中 理満 (三本木農業3年)
- 米田 研矢 (三本木農業1年)
- 石塚 瀬七 (三本木農業2年)



まちかど情報局

このコーナーは、市民の皆様様に様々な分野の情報を知っていただくコーナーです。十和田消防署より安全確保に関する情報を全6回でお知らせします。最終回は、『暖房器具による火災や事故防止』について紹介します。

暖房器具による火災や事故を防ごう！

○衣類などの可燃物の近くで使用しない

ストーブの上で洗濯物を乾燥させると、落下したり、引火のおそれがあります。

また、カーテンやふすまなどのそばでは使用しないようにしましょう。



○就寝時や外出時は必ず火を消す

布団などが接触して火災になるおそれがあります。

就寝時や外出時は暖房器具のスイッチを切ることを習慣にしましょう。



○カートリッジタンクは口金が締まったことを確認する

給油時は必ず消火し、火が消えたことを確かめてから給油しましょう。

また、給油後は火の気の無いところで一度カートリッジタンクをひっくり返し、灯油が漏れないことを確認してからセットしましょう。



○スプレー缶は暖房器具の上やそばには置かない

スプレー缶は暖房器具の近くに放置していると、過熱され、爆発するおそれがあります。



○一酸化炭素中毒に注意を

一酸化炭素は不完全燃焼により発生します。少ない量を吸い込んでも、最悪の場合、死に至ることがあります。

一酸化炭素中毒を防ぐため、十分な換気を行ってください。

また、FF式ストーブは吸排気筒が屋根からの落雪などで塞がれると、不完全燃焼となり一酸化炭素中毒を引き起こすおそれがあります。定期的に確認しましょう。



善意の窓

平成30年7月1日～
11月30日受付分
※社会福祉協議会への寄附は税制上の優遇措置が認められています。

【福祉基金】

・木津 寛様	100,000円
・沼宮内 佑子様	100,000円
・あすか流家元 あすか竜様	30,000円
・十和田市グラウンドゴルフ協会 会長 山崎武則様	18,652円
・陶芸愛好会 軸の会様	17,700円
・匿名	10,000円
・匿名	10,000円
・匿名	2,000円
・匿名	2,000円
・匿名	1,000円
・匿名	1,000円
・匿名	1,000円

【物品寄附】

・上北農産加工 課様	スタミナ源タレ11箱
・山崎製パン(株)十和田工場 様	パン400個
⇒ゆめ色フェスティバル出演団体、参加者へ	
・小笠原 良様	電動ベッド1台
・協同組合十和田管工事協会 理事長 山田靖博様	車イス2台

【指定寄附】

・青森 リース 様	50,000円
・南館 邦士 様	10,000円

⇒ゆめ色フェスティバル事業へ



十和田市社協だより 平成31年1月発行 第117号

編集・発行 社会福祉法 十和田市社会福祉協議会

社会福祉協議会のホームページでも「社協だより」をご覧ください。市民の皆様からの「社協だより」に関するご意見・ご感想をぜひお寄せください。

〒034-0011 青森県十和田市稲生町18-33 市民交流プラザ内

E-mail: welfare@towada-shakyo.or.jp

ホームページ: <http://towada-shakyo.or.jp>



十和田市社協 検索

この広報は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しました